

# 2024年度 第一回進路説明会

藤沢市立六会中学校  
2024. 5. 20

## 1. 進路選択にあたって

### (1) 進路指導の目標

- ・将来を見通した生き方を考え、進路を考える。
- ・生徒が主体的に意識を持って進路選択を行える。
- ・自分の適性を伸ばすことのできる進路の選択・決定ができる。
- ・生徒が保護者と十分に話し合い、結論を出すようにする。
- ・学習面と生活面ともに前向きな努力を継続する。

### <進路指導委員会>

学校では、生徒一人ひとりに対し適切な進路指導ができるように、校長・教頭・教務主任・各学年主任・進路担当職員・三年所属職員からなる進路指導委員会を組織します。

進路指導委員会では情報の収集や資料の作成に努め、生徒一人ひとりの進路希望に対し、学習成績や個性等、多方面から総合的に検討し、共通理解のもとに助言を行っています。なお、生徒・保護者への窓口は担任になります。

### (2) 進路選択に向けての心構えと留意点

#### ①進路指導＝「どう生きていくか」を考える

進路指導は本人が中学校卒業後「どう生きていくか」を決めるために指導・助言を行うものです。進路の決定は、生徒本人と保護者がします。担任（進路指導委員会）は生徒の希望を尊重しながら、できるだけ多くの情報を生徒・保護者に伝え、進路を決めていく際の手助けをします。「合格する」という短い期間だけでなく、5年後・10年後を見通して進路を考えていく必要があります。

#### ②百聞は一見にしかず

積極的に情報収集をしましょう。

HP や先輩や友達の話、資料等で情報を集めただけではその学校の良さ等はまだまだわかりません。少しでも気になったら学校説明会や体験入学等に参加することをおすすめします。遠方や特殊な進路を考えている場合は、資料がクラスにないこともあります。そのときは早めに遠慮なく相談してください。

#### ③社会へ出る準備期間

中学校卒業後は自分の責任で行うことが増えます。だからこそ、この3年間で社会に通用する言葉遣いやマナー、生活習慣を身につける必要があります。学年が上がるにつれて身に付けることレベルも上がっていきます。勉強・部活・学校行事などで一生懸命取り組んだり、苦難を乗り越えたりすることで多くの経験も得られます。日頃の学校生活を大切に、一日一日を過ごしてください。

#### ④書類や提出物

進路関係の書類には必ず目を通し、必要書類の提出期限は必ず守ってください。

## 2. 年間予定

### 2024年度進路指導年間予定

月	学校行事	進路行事	進学関係	就職関係
5月	修学旅行(10~12)	保護者進路説明会(20)	インクルーシブ教育実践 推進校中高連携事業 申し込み期間(27~31)	
6月	前期中間試験(18~19)	第一回実力テスト(21) 第一回進路希望調査	全公立展(15)	
7月	三者面談(8~12)		全私学展(15) 高等専修学校展(15)	
8月			インクルーシブ教育実践 推進校、中高連携事業 申し込み期間(26~30)	
9月	前期期末試験(4~6)		特別支援学校志願相談	
10月	三年三者面談(21~25)	第二回進路希望調査		就職相談(ハローワーク)
11月	3年後期中間試験(5~7)	第二回実力テスト 第三回進路希望調査 第二回保護者進路説明会 調査書成績決定		四者面談・適性検査 (ハローワーク)
12月	三者面談(2~6)	三者面談にて私立受験校決定	特別支援学校選抜・発表 私立教育相談	受験企業決定
1月	3年学年末試験	第三回実力テスト 公立受検校決定	私立推薦出願・入試・発表 私立一般出願 公立共通選抜出願(23~29)	就職試験
2月			私立一般入試・ 私立オープン入試 公立共通選抜(14) 面接及び特色検査 (14,17,18) 公立共通選抜発表(28)	
3月	卒業式		公立定通選抜出願(6,7) 公立定通選抜入試 (17,18) 公立定通選抜発表(21)	



### 3. 進路の選択肢

#### 就職→ハローワーク（公共職業安定所）

ここ数年の就職状況は、中卒の求人依頼がなし、あるいはあっても数件という現状です。就職の希望がある場合、早めに担任に相談してください。定時制高校や通信制高校に通い、働きながら学ぶこともできます。

【採用の流れ】 求人情報の確認（10月頃）→応募書類をハローワークに提出→採用試験（1月上旬）

ハローワーク藤沢（管轄区域：藤沢市、鎌倉市、茅ヶ崎市、高座郡）  
〒251-0054 藤沢市朝日町5-12 藤沢労働総合庁舎 0466(23)8609

※縁故の場合もハローワークを通します。

#### 高等専修学校（生蘭高等専修学校、大和商業高等専修学校など）

専門的な技能の育成や資格の修得、教養の向上を図るための学校です。通信制高校との技能連携で高校卒業資格もとれる学校で、県内には11校あります。募集が早いことがほとんどです。早めに調べておくことが必要です。

分野	特徴	修業年限
衛生（調理）	調理師免許が取得できます。	1,3年間
工業	電気工事士などの資格が取得できます。	3年間
商業実務	簿記・会計関係などの資格取得を目指します。	3年間
服飾・家政	洋裁や服飾デザインの勉強をします。	3年間
衛生（美容）	美容師免許が取得できます。	3年間
文化・教養	デザイン・音楽の勉強をします。	3年間

#### 技能連携校・サポート校（日々輝学園、星槎学園高等部など）

通信制高校と連携して高校卒業資格を得る学校です。集団が苦手な人や不登校経験を持つ人に対して手厚いケアを行ってくれる学校が多くあります。募集が早い学校がほとんどです。

#### 高等専門学校（東京都立産業技術高等専門学校・サレジオ高等専門学校など）

専門的な知識や技術を修得する学校で、多くは5年制です。卒業時に大学3年生に編入できます。主に理系の勉強をするところが多く、国立・公立・私立がありますが、県内にはありません。

#### 特別支援学校・特別支援学校分教室（鎌倉支援学校、藤沢支援学校など）

心身に障がいを持った生徒に対して必要な支援・教育をする学校です。療育手帳の取得生徒が優先されます。特別支援学校とその分教室に志願するには、現在行われている説明会等に親子で参加し、夏休みまでに志願校を決める必要があります。9月に入ると志願校で受検を前提としての面談が始まります。入試は12月上旬です。

#### インクルーシブ教育実践推進校（県立茅ヶ崎高校、県立湘南台高校、綾瀬高等学校など）

共生社会の実現を目指し、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げながら、全ての生徒が共に学び相互に理解を深める教育に取り組み、社会性、思いやりの心を育てることを目的にした学校です。療育手帳の取得は必須ではありません。志願するには説明会への参加が必須になっています。希望の場合は早めに担任へご連絡ください。

#### 高等学校

＜公立・私立＞

- 公立：県や市が設置者（神奈川県立〇〇高校、〇〇市立高校）  
神奈川県内のどの公立高校も受検できます。（横浜市立高校、川崎市立高校には学区がありますが、藤沢からの受検は可能です）
- 私立：民間の学校法人が設置者  
教育方針や費用などは学校によって様々です。礼拝の時間がある学校、土曜日に授業がある学校などもあります。

＜課程＞

- 全日制：朝から午後まで授業を行います。修業年限（卒業までにかかる年数）は3年間です。
- 定時制：夕方から夜にかけて授業を行います。（昼間に授業を行う学校もあります。）修業年限は3年以上で、3年間で卒業できる学校もあります。
- 通信制：自宅での自学自習を基本とし、レポート（報告課題）を提出と月2回程度のスクーリング（面接指導）があります。修業年限は3年以上です。平日に毎日登校する学校、ITを活用して学ぶ学校もあります。

＜学年制と単位制＞

- 学年制：中学校と同じように1年ごとに進級していきます。
- 単位制：学年の区分がなく、3年間（4年間）で必要な単位数を修得することで卒業できます。  
共通教科の科目を中心に、自分の興味・関心、進路希望にあわせて科目を選択し、学習していきます。授業は中学校のような一日変わらない学級ごとではなく、同じ科目を選択した生徒と一緒に学習しますので、例えば1年生と2年生が混ざった国語の授業があるという形になります。

＜学科＞

- 普通科：中学校と同じような、普通科目を中心に学ぶ学科です。
  - ・専門コース：普通科目の学習を主としながら、そのコースに関する専門的な科目を学習します。  
（市立戸塚：音楽コース、私立鶴沼：英語コースなど）
  - ・クリエイティブスクール：基礎学力の定着、社会的規範の定着、キャリア教育の推進を教育目標とした学校です。（県立大和東・田奈・釜利谷・横須賀南・大井）
  - ・フロンティアスクール：定時制で「午前部」と「午後部」があり、昼間から学ぶことができる定時制です。4年間での卒業が原則ですが、授業のとり方で3年間での卒業が可能です。  
（県立横浜明朋・相模向陽館）
  - ・フレキシブルスクール：単位制の仕組みを生かし、1人ひとりの生活スタイルや学習ペースに応じた学習ができます。午前・午後・夜間それぞれの時間帯から選択できます。
- 専門学科：将来のスペシャリストとして必要な専門的知識・技術の基本を身に付けるため、専門科目を25単位以上学習します。（県立藤沢工科：総合技術科、県立平塚農商：農業総合科、私立藤沢翔陵：商業科など）
- 総合学科：普通科目と専門科目の両分野にわたって設置された特色ある科目の中から自分で科目を選択し、単位制のしくみによって学びます。（県立藤沢総合など）



#### 4. 入学者選抜について

##### (1) 私立高等学校入学者選抜の概要

入学者の選抜方法		入試方法	受験校と併願校	試験日	入学手続き日	中学校校長推薦
推薦入試	推薦	面接のみ	私立1校のみ受験可	1月22日以降	合格発表後すぐ	必要
一般入試	専願	学力試験 面接 作文など	私立1校のみ受験可	2月10日以降	合格発表後すぐ ・入学金以外の納入金の締切日は、公立の合格発表日以降に設定 ・納入金全額を公立発表日以降に設定の学校もある	不要
	併願		公立共通選抜併願可 (他私立と併願は、学校で可と不可あり)			
	オープン等	学力試験	私立・公立とも併願可			

\*上記はあくまで原則で、細かくは各高等学校により異なります。受験校の募集要項で必ず確認してください。

\*私立校の書類は全て受験者自身で取り寄せ、準備を行います。オープン入試や一部私立(慶應、早稲田など)は試験日や必要書類が各校ごとに異なります。必ずご確認ください。また、学校で準備が必要なものは、早めにお知らせください。

##### <選抜方法>

- 公立高校は、調査書・入学試験・主体的に取り組む態度・特色検査の結果等を合わせて総合的に判断され、合否が決まります。
- 私立高校においては、選抜方法や調査書の基準点は、学校ごとに異なり、次のような学校も多いです。
  - ・欠席・遅刻日数など生活面を重視する学校
  - ・調査書の内容のうち、部活動・委員会活動等の実績、英数漢検定などの資格を点数化する学校
  - ・その学校の説明会参加を点数化したり、受験資格としたりする学校
 詳しくは学校説明会参加や個別相談会などで積極的に相談しましょう。
- クラブ等のスポーツ推薦でも、中学校と高校の学校長間での連絡が必要です。お話をいただいた際には、早めにご連絡ください。
- 毎年12月中旬に高校と中学校で「教育相談」を行います。オープン入試以外の県内私立校は、この教育相談を必要とする学校がほとんどです。教育相談ができるのは1校で、必ずその高校を受験することを条件に相談を受けることができます。教育相談の条件として、他私立との併願(オープン)を受験しないことを条件としている私立もあります。学校説明会や個別相談会等で確認をしてください。

##### (2) 公立高等学校入学者選抜の概要

##### <共通選抜>

募集	全日制(定員100%)と定時制・通信制(定員80%)夜間以外の定時制(定員100%)
募集期間	令和7年1月23日(木)から29日(水)まで
志願変更期間	令和7年2月4日(火)から6日(木)まで
学力検査等の期日	令和7年2月14日(金)
面接及び特色検査の期日	令和7年2月14日(金)17日(月)18日(火)
追検査の期日	令和7年2月20日(木)
合格者の発表	令和7年2月28日(金)

##### <定通分割選抜>

募集	定時制・通信制(定員20%)
募集期間	令和7年3月6日(木)7日(金)
志願変更期間	令和7年3月10日(月)
学力検査等の期日	令和7年3月17日(月)
特色検査の期日	令和7年3月17日(月)18日(火)
合格者の発表	令和7年3月21日(金)

##### <二次募集>

「共通選抜」「定通分割選抜」で募集定員に満たない場合のみ行われます。二次募集の志願資格は「国公私立高等学校(高等専門学校含む)の合格者になっていない者」です。

##### <選抜の資料>

資料は「A 調査書」「B 学力検査」「C 主体的に学習に取り組む態度」「D 特色検査」があります。

##### ●「A 調査書」について

「2年9教科の評定」+「3年9教科の評定」×2=135点満点を100点満点に換算→「A点」という(クリエイティブスクールは評定ではなく観点別評価を使う)

##### ●「B 学力検査」について

国語・数学・英語・理科・社会の各100点=500点満点を100点満点に換算→「B点」という(3教科のところもあり 定時制は国・数・英 クリエイティブスクール・通信制は学力検査を行わない)

##### ●「C 主体的に学習に取り組む態度」について

3年9教科の「主体的に学習に取り組む態度」の各評価(A=3点、B=2点、C=1点)=27点満点を100点満点に換算→「C点」という

##### ●「D 特色検査」について

面接、教科横断的な内容のテスト、スピーチ、グループ討論、実技検査など学校独自に設定:100点満点換算

Web出願



(3) 選抜方法

<第一次選考> 募集定員の90%

A点、B点、D点(特色検査)の合計値の高得点順で選考、学校によって割合を変えることができる。

昨年の例	A点(調査書)	B点(学力検)	D点(特色検査)	
大船	×3	×7	なし	B点重視型
二宮	×6	×4	なし	A点重視型
湘南	×4	×6	×2	特色検査有型
横須賀	×3(英・国・数×2)	×7	×1	特殊型

以上のような割合は「令和年度神奈川県公立高等学校入学選抜 募集案内」に記載します。(7月配付予定。)通信制やクリエイティブスクールは上の方法によらず、調査書や実施した検査(作文)の結果をもとに総合的に選考します。

<第二次選考> 募集定員の10% A点を使わずに選考

昨年の例	B点(学力検)	C点(主体)	D点(特色検査)
藤沢西・大船	×6	×4	なし
二宮	×6	×4	なし
湘南	×8	×2	×2
横須賀	×8	×2	×1

<定通分割選抜>

私立高校を含む他の学校に合格していないことが受検の条件になります。

定時制:調査書の評定(2・3年)と実施した学力検査(国数英)・特色検査の結果をもとに選考します。

通信制:調査書や実施した検査(作文)の結果をもとに総合的に選考します。

(4) 費用の目安

	受検料	入学料	授業料	
全日制	2,200円	5,650円	118,800円	
定時制	950円	2,100円	32,400円	
通信制	無料	無料	350円/1単位	
私立高校(例)	20,000円	200,000円	400,000円	初年度納入金合計 850,000円

\*経済的な理由で支払いが困難な場合に、公立高校の受検料、入学料の全部または一部を免除する制度があります。

横浜市立高校、川崎市立高校、横須賀市立高校もほぼ同じです。

\*経済的な理由で授業料等の支払いが困難な場合に、国や県の就学支援金の制度があります。また各種奨学金もあります。進路通信等で随時お知らせしますので希望される方は担任までお申し出ください。なお、応募要件として、世帯の年間所得や成績などの制限があります。

\*就学支援制度については、県のHPにも詳しく掲載されています。関係機関から提示されたものは、進路通信等で随時ご案内いたします。

神奈川県 学費支援 | 神奈川県 就学支援 | 検索



返還不要

お申込みは高校入学後!

高等学校等 就学支援金

学費補助金

神奈川県 高校生等 奨学給付金

年収**700**万円未満  
の世帯まで  
授業料が実質無償化 **最大 468,000円**

NEW | 令和6年度から多子世帯の要件が緩和されました  
※多子世帯…23歳未満の扶養している子どもが3人以上いる世帯

多子世帯で  
年収**910**万円未満  
の世帯まで授業料が実質無償化 **最大 468,000円**

非課税世帯まで  
入学金が実質無償化 **最大 211,000円**

授業料等の返還時期や方法は学校により異なりますので  
学校に直接お問い合わせください。

年収に関わらず、リーフレットの内容を  
よく、ご確認ください。



発行/お問合せ 神奈川県 福祉子どもみらい局 子どもみらい部 私学振興課 助成グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話:045-210-3793(直通) 受付時間:平日8:30~12:00、13:00~17:15

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3e/jyosei/gakuhislen/index.html>

